

企業短期経済観測調査（道北※地域分）
（調査対象企業数：道北※38社）

※上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内
回答社数構成比 %ポイント
（ ）内は前回調査時予測

（判断D. I. ）

	2024/3月	6月	9月	12月	2025/3月	6月	2025/9月 までの予測
業 況 判 断						(7)	
< 良 い - 悪 い >	6	11	16	10	11	15	16
うち製造業	13	13	0	0	0	(25) 12	38
非製造業	3	10	20	14	14	(4) 17	10
国 内 で の 製 商 品 ・ サ ー ビ ス 需 給						(-13)	
< 需 要 超 過 - 供 給 超 過 >	-11	-6	-6	0	-6	-3	-11
製 商 品 在 庫 水 準							
< 過 大 - 不 足 >	4	0	7	11	4	7	
生 産 ・ 営 業 用 設 備						(-11)	
< 過 剰 - 不 足 >	0	0	-2	-5	-8	-8	-8
雇 用 人 員						(-55)	
< 過 剰 - 不 足 >	-45	-50	-45	-49	-45	-47	-53
資 金 繰 り							
< 楽 だ る - 苦 し い >	13	15	13	10	5	8	
金 融 機 関 の 貸 出 態 度							
< 緩 い - 厳 し い >	29	23	23	27	20	20	
借 入 金 利 水 準						(75)	
< 上 昇 - 低 下 >	6	29	50	50	72	45	45
販 売 価 格						(36)	
< 上 昇 - 下 落 >	18	31	27	35	39	39	37
仕 入 価 格						(61)	
< 上 昇 - 下 落 >	63	58	50	59	61	61	52

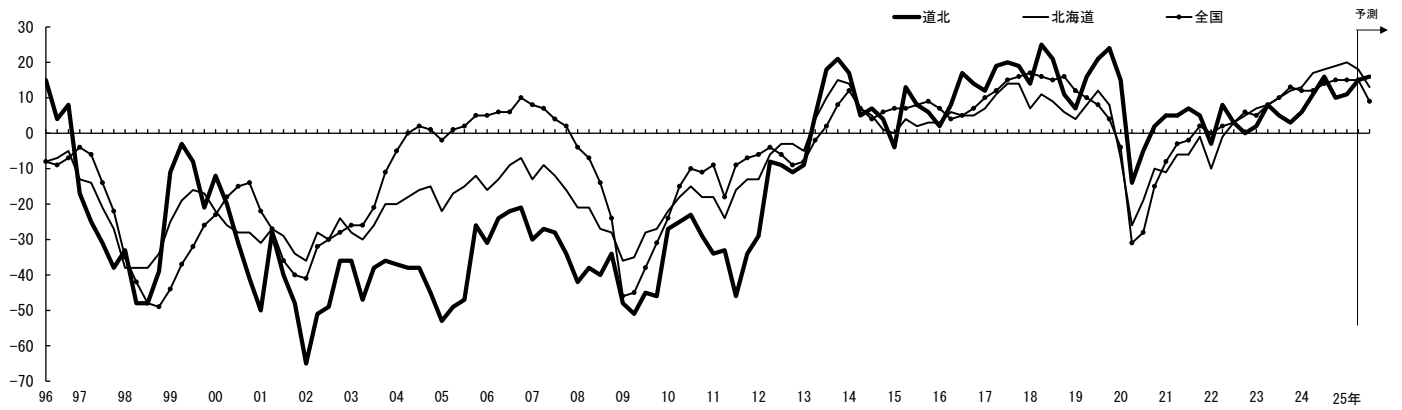
全産業、前年度比%、
< >内は前回調査比修正率%

（事業計画）

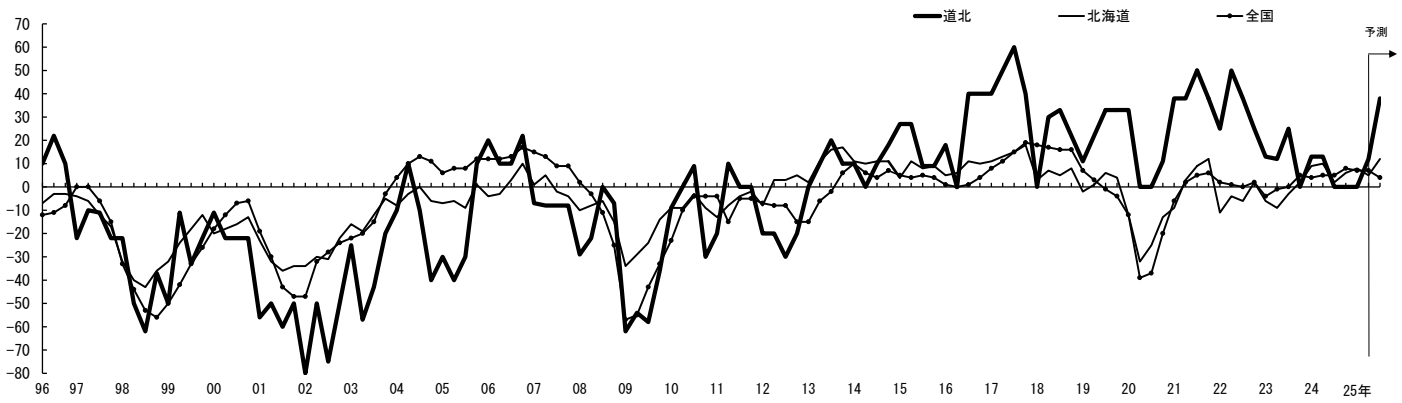
	2023年度実績	2024年度実績	2025年度計画			
			上期		下期	
売 上 高	-0.2	-2.5 < 1.7>	-3.3 < 0.6>	-2.0 < 0.0>	-4.4 < 1.2>	
経 常 利 益	3.3	-11.7 < 29.2>	-15.8 < 12.7>	-4.6 < 9.3>	-23.0 < 15.6>	
当 期 純 利 益	22.9	-24.9 < 17.8>	-4.6 < 9.9>	1.2 <-14.7>	-8.0 < 34.6>	
設 備 投 資 額	43.1	-17.9 <-14.9>	20.8 < 23.0>			

2025年6月短観・調査結果

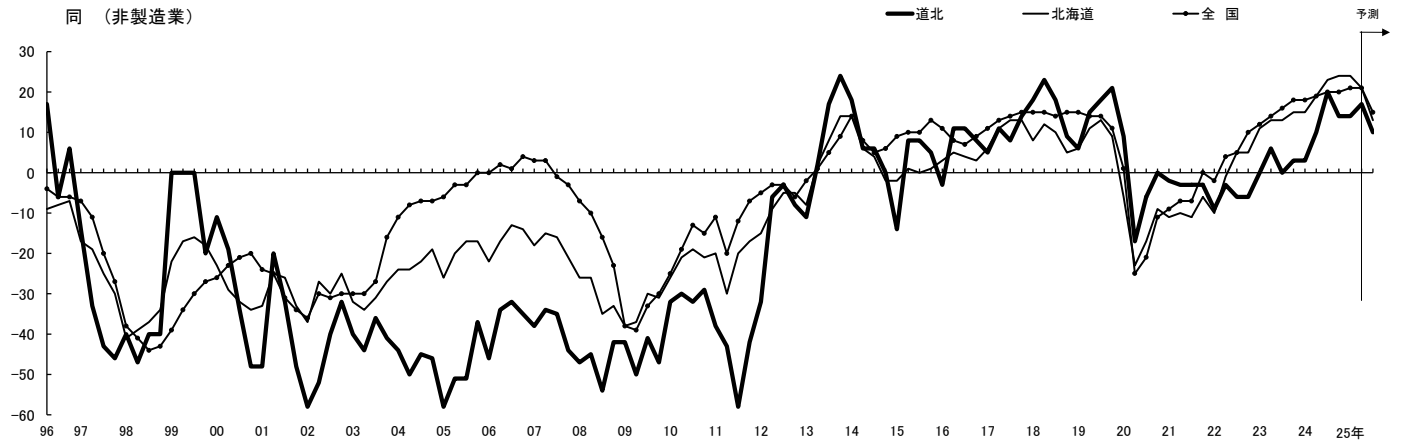
業況判断D. I. (「良い」－「悪い」、%ポイント)



同 (製造業)



同 (非製造業)



(注) 道北は、上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内。
2024年3月以降は、調査対象企業見直し後の新ベース。

道北地域の企業短期経済観測調査結果（2025 年 6 月）の概要

- 調査対象企業数：道北地域 38 社（製造業 8 社、非製造業 30 社）
- 回答率 100.0%（有効回答社数 38 社）
- 回答期間：2025 年 5 月 28 日～6 月 30 日

1. 業況判断 DI

- 6 月の業況判断 DI（全産業ベース、DI：%ポイント＜以下同じ＞）は、+15 となり、前回 3 月調査から改善した（前回+11、前回比+4）。
 - 製造業の業況判断 DI は、+12 と前回調査比改善（同 0、同+12）。
 - 非製造業の業況判断 DI は、+17 と前回調査比改善（同+14、同+3）。
- 先行きの業況判断 DI は、小幅の改善を見込み、16 との予測（6 月実績+15 ⇒9 月までの予測+16）。
 - 製造業は改善（同+12⇒+38）を見込み、非製造業は悪化（同+17 ⇒+10）を見込む。

2. 各種判断 DI

- 「製商品・サービス需給判断 DI＜需要超過－供給超過＞」（前回調査－6⇒今回調査－3）は、供給超幅が縮小した。
- 「製商品在庫水準判断 DI＜過大－不足＞」（同+4⇒+7）は、過大超幅が拡大した。
- 「生産・営業用設備判断 DI＜過剰－不足＞」（同－8⇒－8）は、不足超幅が横ばいとなった。
- 「雇用人員判断 DI＜過剰－不足＞」（同－45⇒－47）は、不足超幅が拡大した。
- 金融環境についてみると、「資金繰り判断 DI＜楽である－苦しい＞」（同+5⇒+8）は、楽である超幅が拡大したほか、「金融機関の貸出態度判断 DI＜緩い－厳しい＞」（同+20⇒+20）は、緩い超幅が横ばいとなった。この間、「借入金利水準判断 DI＜上昇－低下＞」（同+72⇒+45）は、上昇超幅が縮小した。
- 価格面についてみると、「仕入価格判断 DI＜上昇－下落＞」（同+61⇒+61）、
「販売価格判断 DI＜上昇－下落＞」（同+39⇒+39）は、ともに上昇超幅が横ばいとなった。

3. 事業計画

- 2024 年度の実績は、売上高は前年度比－2.5%、経常利益は同－11.7%、当期純利益は同－24.9%、設備投資額は同－17.9%となっている。前回調査との比較では、売上高、経常利益、当期純利益は上方修正された一方、設備投資額は下方修正された。
- 2025 年度の計画は、売上高は前年度比－3.3%、経常利益は同－15.8%、当期純利益は同－4.6%、設備投資額は同＋20.8%となっている。

以 上